



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 日本電解株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5759 URL <https://www.nippon-denkai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 中島 英雅
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 松崎 靖秋 (TEL) 0296 (28) 5551
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,578	△2.3	△545	—	△147	—	△402	—
2023年3月期第2四半期	8,775	△12.9	△565	—	△583	—	△609	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △408百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △281百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△44.53	—
2023年3月期第2四半期	△84.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,489	7,039	31.3
2023年3月期	22,678	7,447	32.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,039百万円 2023年3月期 7,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,900	△0.9	△1,000	—	△800	—	△1,200	—	△132.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	9,050,000株	2023年3月期	9,050,000株
2024年3月期2Q	89株	2023年3月期	69株
2024年3月期2Q	9,049,920株	2023年3月期2Q	7,253,190株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想等のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、極端な気象関連事象による世界各地での災害、米欧中央銀行による政策金利の引き上げが経済活動に影響し、世界的なインフレ率に改善の兆しは見られるものの、世界経済の成長率は緩やかな減速傾向となりました。

米国では、雇用・所得環境が底堅く、また、過剰貯蓄の取り崩しや政府補助金を通じた投資喚起策が内需をけん引し、景気は堅調に推移しました。

中国では、不動産部門の想定以上の不振による景気の長期低迷化、景気回復への不信感から個人消費が低下し、ゼロコロナ政策後の内需回復は鈍く推移しました。

我が国経済においては、新型コロナウイルスの「5類感染症」への移行により感染対策が緩和されたことから、社会・経済活動の活性化などが内需の下支えとなり、内閣府発表の実質GDP成長率はコロナ危機前と同等程度まで回復しました。

蓄電池の中でもリチウムイオン二次電池（LIB）分野においては、脱炭素化に加え経済安全保障の側面から、車載用LIBに関連する各国の政府補助金などの支援体制が整い、中国や欧米を中心に電動化車両（xEV）の販売台数は大幅に増加し、半導体供給不足の解消と共に市場は活況となりました。一方で、米国のインフレ抑制法（IRA法）に関連し米財務省が発表したEV税控除に係るバッテリー調達要件の厳格化により、サプライチェーンの新たな構築を求められるなど、自動車メーカーへのLIB調達に対する様々な影響を与える要因ともなりました。

回路基板分野においては、米中貿易摩擦による半導体供給に懸念はあるものの、スマートフォン出荷台数は下げ止まりの傾向が見られ、電子部品需要は回復傾向を示しました。しかしながら、円安による輸入材料の調達コスト上昇や、サプライチェーンにおける在庫調整の影響も一部で残り、本格回復までには至りませんでした。

このような情勢のなか、当社グループにおける車載電池用分野においては、米国IRA法が車載電池部品の50%以上が米国またはFTA締結国で調達されている場合に支援対象としたため、輸出用の国内製造電池向け銅箔の販売は低調に推移しましたが、米国向け銅箔は概ね堅調となりました。なお、Denkai America Inc.では車載電池用銅箔の試作・量産準備を進めています。

回路基板用分野においては、中国のスマートフォン向けの一部製品では販売が回復しました。しかしながら、主要顧客による部品構成が変更となった影響が大きく、回路基板用銅箔の販売量全体では減少となりました。

収益面においては、米国既存ラインの設備故障による大幅生産減および、顧客の生産変動による影響が悪化要因となり、営業利益以下の各段階利益は赤字となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における生産数量は全品種合計で4,382^ト（前年同期比3.2%増）、売上高は8,578百万円（前年同期比2.3%減）、営業損失は545百万円（前年同期は営業損失565百万円）、経常損失は147百万円（前年同期は経常損失583百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は402百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失609百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて189百万円（0.8%）減少し、22,489百万円となりました。流動資産は主に現金及び預金の減少1,646百万円、売掛金の減少644百万円、製品の増加20百万円、仕掛品の増加76百万円、原材料及び貯蔵品の増加136百万円により2,137百万円（22.9%）減少し、7,206百万円となりました。固定資産は主に建設仮勘定の増加2,204百万円により1,948百万円（14.6%）増加し、15,282百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて218百万円（1.4%）増加し、15,449百万円となりました。流動負債は主に買掛金の減少337百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加243百万円、未払法人税等の増加50百万円により233百万円（2.5%）増加し、9,460百万円となりました。固定負債は主に長期借入金の減少5百万円により14百万円（0.2%）減少し、5,989百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純損失402百万円、為替換算調整勘定の減少9百万円、退職給付に係る調整累計額の増加4百万円により前連結会計年度末に比べて408百万円(5.5%)減少し、7,039百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の32.8%から31.3%へと1.5ポイント下降いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ1,646百万円減少し1,933百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、10百万円となりました(前年同期は1,145百万円の増加)。これは主に税金等調整前四半期純損失350百万円、減価償却費613百万円、売上債権の減少726百万円、仕入債務の減少366百万円、為替差益472百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果減少した資金は、1,503百万円となりました(前年同期は3,003百万円の減少)。これは主に有形固定資産の取得による支出1,507百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果減少した資金は、189百万円となりました(前年同期は1,142百万円の増加)。これは主に長期借入れによる収入300百万円、長期借入金の返済による支出479百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月10日公表の2024年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。当該業績予想の詳細につきましては、2023年11月10日公表の適時開示資料「特別損失の計上及び2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,579,657	1,933,372
売掛金	2,478,357	1,834,262
製品	899,463	919,552
仕掛品	1,212,083	1,288,260
原材料及び貯蔵品	628,242	764,332
その他	546,914	467,007
流動資産合計	9,344,718	7,206,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,379,685	1,354,862
機械装置及び運搬具（純額）	3,196,055	2,936,070
建設仮勘定	7,499,402	9,703,710
その他（純額）	1,024,976	1,008,251
有形固定資産合計	13,100,119	15,002,894
無形固定資産	27,419	34,510
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,663	2,663
退職給付に係る資産	156,742	193,532
その他	47,310	48,745
投資その他の資産合計	206,716	244,941
固定資産合計	13,334,256	15,282,346
資産合計	22,678,974	22,489,133

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,771,739	1,434,092
短期借入金	5,000,000	5,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,358,760	1,601,827
未払法人税等	27,502	77,866
賞与引当金	103,019	92,909
役員賞与引当金	4,486	2,512
その他	961,343	1,250,816
流動負債合計	9,226,853	9,460,025
固定負債		
長期借入金	5,762,200	5,757,052
繰延税金負債	1,868	2,104
その他	240,258	230,416
固定負債合計	6,004,326	5,989,573
負債合計	15,231,180	15,449,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858,509	1,858,509
資本剰余金	4,058,509	4,058,509
利益剰余金	1,157,645	754,658
自己株式	△196	△235
株主資本合計	7,074,467	6,671,441
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	382,823	373,412
退職給付に係る調整累計額	△9,496	△5,318
その他の包括利益累計額合計	373,327	368,093
純資産合計	7,447,794	7,039,534
負債純資産合計	22,678,974	22,489,133

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,775,863	8,578,284
売上原価	8,679,085	8,504,554
売上総利益	96,778	73,729
販売費及び一般管理費	662,654	618,912
営業損失(△)	△565,875	△545,183
営業外収益		
受取利息	315	18
屑売却収入	18,240	19,937
為替差益	90,274	494,277
その他	2,375	4,108
営業外収益合計	111,205	518,341
営業外費用		
支払利息	92,567	100,387
その他	36,103	20,490
営業外費用合計	128,671	120,878
経常損失(△)	△583,340	△147,719
特別利益		
固定資産売却益	—	8,243
特別利益合計	—	8,243
特別損失		
固定資産除売却損	13,249	44,070
臨時損失	—	166,751
特別損失合計	13,249	210,821
税金等調整前四半期純損失(△)	△596,590	△350,296
法人税、住民税及び事業税	1,347	52,679
法人税等調整額	11,754	10
法人税等合計	13,101	52,690
四半期純損失(△)	△609,692	△402,986
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△609,692	△402,986

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△609,692	△402,986
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	337,807	△9,411
退職給付に係る調整額	△9,843	4,177
その他の包括利益合計	327,964	△5,234
四半期包括利益	△281,727	△408,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△281,727	△408,221

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△596,590	△350,296
減価償却費	625,249	613,499
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,232	△13,242
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,151	△2,369
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△16,084	△16,927
退職給付費用	△13,197	5,016
受取利息	△315	△18
支払利息	92,567	100,387
為替差損益(△は益)	△89,377	△472,387
固定資産除売却損益(△は益)	12,505	33,611
売上債権の増減額(△は増加)	1,081,528	726,559
棚卸資産の増減額(△は増加)	686,798	△142,827
仕入債務の増減額(△は減少)	△442,007	△366,922
未収入金の増減額(△は増加)	57,862	118,129
契約負債の増減額(△は減少)	2,915	△56,651
未払又は未収消費税等の増減額	24,958	△51,731
その他	△53,726	△12,361
小計	1,331,701	111,467
利息の受取額	315	18
利息の支払額	△89,175	△97,893
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△96,954	△3,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,145,887	10,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,000,242	△1,507,729
無形固定資産の取得による支出	△3,700	△5,596
その他	—	9,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,003,942	△1,503,833
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,500,000	—
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△479,380	△479,380
株式の発行による収入	111,531	—
新株予約権の発行による収入	20,754	—
リース債務の返済による支出	△10,303	△10,559
その他	—	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,142,602	△189,978
現金及び現金同等物に係る換算差額	249,210	37,067
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△466,242	△1,646,285
現金及び現金同等物の期首残高	2,500,768	3,579,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,034,526	1,933,372

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(残存価額及び耐用年数の変更)

当社の連結子会社であるDenkai America Inc.では、車載電池用銅箔設備の竣工を契機として、同社が保有する有形固定資産の残存価額及び経済的使用可能予測期間を見直し、第1四半期連結会計期間より将来にわたり変更しております。

この結果、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失はそれぞれ24,587千円増加し、税金等調整前四半期純損失は27,916千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループの事業は、電解銅箔製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループの事業は、電解銅箔製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。